



入試での注意事項



いよいよ入試のスタートです。みなさんは、この試験に合格することを目指してがんばってきたと思います。言うまでもなく、試験は合否を分ける大きな関門です。不安になったり緊張したりするのは当たり前だと思いますが、見方を変えれば「今まで頑張ってきた成果を発揮する場」とも考えられます。今までの自分の頑張りやまわりの人たちの応援を思いだし、自分の力を発揮してください。みなさんの健闘を祈っています。

さて、準備や注意事項については、受験校から配布されている「受験上の注意事項」をまずよく読んでおいてください。

【前日準備】

- (1) 終学活後、学級担任の先生の前日指導を受けて下校する。
- (2) 自分の受験番号はしっかり覚えておく。
 - ・ 面接でたずねられます。また、検査会場で何かあった場合は受験番号と名前、中学校名を伝えるようにしましょう。
- (3) 受験票は大切に扱う。
 - ・ 折り曲げたり、破ったり、汚したりしないようにしましょう。
 - ・ 試験が終了しても大切に保管しておきましょう。合格発表時に証明書となります。
- (4) 受験票や「受験の諸注意」の記載事項をよく読んでおく。
 - ・ 試験科目と時間や試験に必要なもの（推・専・併の受験型やコースによって異なる）。その他、登下校や昼食等の注意事項が書かれています。
- (5) 持ち物は前日の早めから準備する。
 - (ア) 生徒カード（何かあった時の身分証明書となります）、受験票、鉛筆（HB：5本以上は必要・マークシート方式など学校によって、濃さ等に指定があれば気をつける。）、シャープペンシル・消しゴム2個、その他（定規・無地の下敷きなど）、鉛筆などはまとめて、太めの輪ゴムで軽く束ねておくと試験中に床に落ちにくくなります。
 - (イ) 上靴、下靴入れ、弁当、交通費（カードなどがあれば、券売機が混雑していても慌てずすみませう。現金で持って行く場合は少し余分に準備しましょう。また、帰りの切符は、朝、駅に着いた時に購入しておく）電話代・時計（計算機能のついてないもの、アラームは鳴らないようにしておく）、カバン（地味なもの。飾り・マスコットは控えめに）、面接学習プリント、メモ（受験番号、受験校）。携帯電話・スマートフォンは持ち込み禁止です。以前、携帯電話を使ったカンニング事件がありました。当然、同様の事件が起きないように各校神経をとがらせていると思います。（疑われるような行為はしない）
 - (ウ) マスクを着用するなど、感染症予防についても準備しておきましょう。
- (6) 服装・身だしなみは学校のルールに合わせて整える。
 - (ア) 通学服の点検(ボタン)、上着、ズボン、スカートの丈、靴下の色、白カッターシャツ、ハンカチ、ティッシュなど。（コートは中学生らしいもの。建物内に入ったらコート、マフラー、手袋は脱ぐ。）
 - (イ) 頭髪、爪を整えておきましょう。
 - (ウ) 靴・・・規定の運動靴（上靴が必要な場合は、上靴と靴入れを前日に持って帰る）
- (7) 体調を整えて臨む。（保温・しっかり睡眠→翌日頭が冴える）。
- (8) 夜は、要点に目を通すぐらいにし、早めに就寝する。
- (9) 翌日の出発時刻を確認。余裕のある時刻に目覚し時計をセットして、極力早めに寝る。

【当日朝】

- (1) 当日はゆとりをもって検査会場に向かう。「入試日経路計画届」に届けた内容で受験校へ向かう。
 - (ア) 早目に起床し、しっかりと朝食をとり、排便を済ませる。
 - (イ) 身なりのチェック、忘れ物がないか再度点検。
- (2) 病気や遅刻等、困ったことが起ったら、迷わず、すぐに落ち着いて中学校に連絡する。
- (3) 電車の中、試験会場までの道中等、常に「見られている」と意識して行動する。
※ 万が一、遅刻しそうな場合や、トラブルに巻き込まれた場合には中学校へ電話連絡をする。また、遅刻した場合は、試験会場の受験校の先生に申し出て指示を受ける。

【試験会場で】

- (1) 掲示板等の指示を必ず見て、集合場所へ行く。受験校の先生の指示を聞き、それに従う。
- (2) 試験前には、必ずトイレの場所を確かめて、済ませておく。
- (3) 教室に入ったら騒がずに落ち着いた状態を作る。
- (4) ポケットなどに参考書や紙片、電子辞書などを入れておかない。(不正行為とみなされる)
- (5) 先生が来られたら(始業ベルが鳴ったら)すぐに着席して静かに座って待つ。
- (6) 試験官の先生の諸注意・指示をよく聞き、きちんと守る。受験票は指定の場所に置く。
- (7) 問題用紙が配布されても指示があるまで待つ。絶対に問題用紙に触れない。おしゃべりや目での合図などをしてはいけない。(不正行為とみなされる)
- (8) 指示に従い、受験番号・氏名など受験票通りに丁寧に記入し、書き忘れのないようにする。
- (9) 今までにやってきたことを信じて、最後までベストをつくすように、気持ちを落ち着ける。
- (10) テスト開始の合図があれば、2～3分かけて全問題を一通り見て、できる問題からやる。
- (11) 字は丁寧に、下手でも分かりやすく書く。
- (12) 問題を読み、答え方の指示に注意して解答する。解答欄を間違えないように記入する。
マークシートの場合は、抜かしたところが無いか特に注意する。
- (13) 早くできたからといって、机に伏せたりしない。もちろん寝ない！試験官が無気力受験生とみなし、合否に大きく影響します。一通り書いたら、抜けている所や、考え違いが無いか再度見直す。
- (14) 終了のベルが鳴っても勝手にしゃべらない。すべて、試験官の先生の指示に従うこと。
- (15) 最後のテストが終わっても勝手に机から離れず、試験官の先生や放送の指示に従う。面接や合格発表などについての指示がある場合もあるので、テスト終了後も静かに待ち、最後まで先生の指示を聞くこと。

【面接】

- (1) 控室は、リラックスする所ではない。静かに自分の番を待つ。
- (2) 学校によっては「本の持参は可」の指示が出ているので、静かに本を読んで待つのも良い。
- (3) 面接練習での注意をもう一度思い出しておく。面接学習のプリントがあると落ち着く。(普段から丁寧に生活すれば自然にできるようになる。その時だけ上手にしようとするとは逆にあがりやすくなり、失敗しやすくなる。)

【試験が終了したら】

- (1) すべて終了したら、寄り道をせずに帰宅する。家に着くまで気を抜かない。私立高校では、駅などで様子を見ている高等学校も少なくない。
- (2) 受験票は持ち帰り、大切に保管する。(合格発表時に必要)

【翌日以降】

- (1) 合格発表の方法は、高校によって異なる。結果は、「受験結果報告届」とともに担任に報告する。
- (2) 結果の内容も、当然人によって異なる。推薦受験の人、専願受験の人、併願受験の人、そして合格した人、残念ながら不合格だった人などさまざまなので、学級や学年の仲間に対して中学3年生として相応しい対応をすること。
- (3) 今回の入試をもって、自分の進路が内定した人(合格した人も正式な入学手続きをもって初めてその高校の生徒と認められます。手続きに不備がないようにしましょう。)は、今後の入試を受ける予定の仲間のことを考えて、授業中どうすべきかあるいは何か仲間の手助けはできないかなどを考えた行動を取るのが当然である。その行動こそ、あなたの人柄が問われる。

大山崎中学校  075-957-1365